

明日にきらめけ

しんろしどうぶ ぶんせき かとう
進路指導部 文責: 加藤

進級おめでとうございます

進級おめでとうございます。今年度進路指導を担当する加藤圭佑です。いよいよ3年生ですね。きっと皆さんの中には、「受験生だからいやだな」とか「プレッシャーに負けそう」とか不安な気持ちをもっている子もいるのではないかでしょう。誰もがそういう気持ちをもつことは当然です。でも安心してください。そんな不安を取り除いてくれる仲間や先生が、みんなの周りにはたくさんいます。不安に感じていること、一人では解決できないこと、どんな小さなことでもよいのでたくさん相談してください。1年後のみんなが、新天地で晴れやかなスタートを切ることができるよう、全力で応援していきます。中学校生活最後の1年、全力で取り組んでいきましょう！

自分の進む道は、自分で決める



進路について考えるときの基本は、「**自分の進む道は、自分で決める**」ということです。もちろん他の人の意見を聞いてはいけないということではありません。多くの人に相談して決めてもらうことが大切です。しかし、最後の決定は「自分で決める」ようにしましょう。その進路で自分は3年間笑顔で過ごすことができるのか、自分の夢を叶えるために適している進路なのか。「**進む道は自分で決める**」ことを大切に後悔のない進路選択をしていきましょう！

また進路選択のために、情報収集をしっかりと行っていきましょう。昨年度行った高校調査や人生設計図をもう一度確認したり、担任の先生や先輩、進路指導の加藤まで積極的に聞きにいったりしましょう！

3年生で大切にすること



昨年度の総合的な学習の時間に、推薦について話をしました。公立高校の推薦募集要項の一文目には、「人物として優れており・・・」という言葉が必ず書かれています。みなさんが考える「人物として優れている」とはどういう姿でしょうか？挨拶がしっかりとできること？規則正しい生活を送っていること？ルールを守って生活していること？提出物を期限までにしっかりと出していること？委員会やボランティア活動に積極的に取り組んでいること？誰に対しても分け隔てなく平等に接していること？考えればきりがないほどのことが思い浮かぶと思います。推薦で受験をしなくとも、私立でも公立でも就職でも他の選択肢でも逢妻中学校を代表して入試に臨むことに変わりはありません。ぜひ一人一人が、今の自分は「人物として優れている」のかを常に考えながら生活してほしいと思います。さあ何から始めればいいか。今からしっかりと考えていきましょう！